



(財)山梨県国際交流協会機関誌

yamanashi

日本語 / English / Português Bi-monthly Newsletter

Vol. 11, No. 6

2月/3月号, February/March, fevereiro/março '07



12月9日(土)に開催された、World Charity Christmasにおいて、ピタゴラスブラジル校の子どもたちによる聖歌隊。(本文8ページのYIA事業報告をご覧ください。)

Merry X'mas!!! This photo features the students from the Pitagoras School of Yamanashi, who sang in the choir for the World Charity Christmas. Students were all dressed in hand-made green costumes, and their performance was peaceful and enjoyable.

Coral natalino das crianças do Colégio Pitágoras de Yamanashi no World Charity Christmas realizado no dia 9 de dezembro. (Veja detalhes na página 5).

INDEX

Memories of Yamanashi 県海外技術研修員、県費留学生によるレポート	2
多文化共生の現場から 在日外国人主体 多文化共生ネットワーク「地球村」	4
JICA通信「山梨から世界へ」JICA山梨デスク 国際協力推進員 雨宮律子 O Natal Solidário mais que solidário	5
O bem sucedido Itinerante em Yamanashi Relatos das estagiárias técnicas 2006	6
Yamanashi Life Guide - Shingen-ko Matsuri	7
Japan Festival YIA事業報告「World Charity Christmas」ワールド チャリティー クリスマス	8
Cooking@Home「ベトナム揚げ春巻」 県内イベント情報！	9
YIA Event Calendar	10

昨春来日した県海外技術研修員、県費留学生、派遣職員、自治体協力交流研修員の皆さんがそれぞれの研修を終え帰国の時期となりました。山梨での日々や研修の様子を振り返り、4人に代表してさまざまな想いを綴ってもらいました。

出身 / 研修(研究)内容 / 研修(研究)場所

「研修生活の思い出」 羅 勤 Luo Qin

中国 / 臨床看護と看護管理 / 社会保険山梨病院



朝、部屋の窓を開けると雪化粧をした富士山が、太陽の光で優美に見えます。周りの山野、いたるところ紅葉で冬になった山梨は、とても美しいです。「光陰矢の如し」と言うように、私の研修の終了が間近に

迫っていることを表しています。山梨で過ごした7ヶ月の研修生活を振り返って見ると胸がいっぱいになります。

日本に来たのは、藍々とした緑の初夏でした。初めての海外生活に対する期待と不安を抱いて、国際交流センターで日本語の勉強をすることから始まりました。日本語の先生の二人は、母親のようでした。日本語の勉強と生活面をお世話していただきました。おかげさまで、日本の生活に早くなれることが出来ました。一ヶ月は楽しくて、とても充実していました。日本語の終了式では、感謝の気持ちがいっぱい涙が出ました。この先生と私達生徒の情愛がずっと私の心に残っています。

7月から山梨病院で看護の専門研修を行いました。院長先生は多くの知識を持っている方です。中国の文化と歴史も良く知っています。私は、非常に感銘しました。看護局長さんは、私に対して大変思いやりがあって、病院のそれぞれの科で良く研修をさせてくれました。ま

た、東京研修会や岐阜で盛大な第4回社会保険医学会総会などにも参加しました。職員旅行は、美しい南国風景の宮古島へ行ってきました。宮古島は、とても「人間仙景な島」でした。「神様の住む島という意味」です。事務局長さんの奥さんが作った日本料理は絶品でした。半年の専門研修は、次々と発展している技術と管理理論を教えてもらいました。帰国したら私の病院が発展するために、この研修成果を活用します。たとえば、四川省広元市人民病院と山梨病院の医学交流のために、医師派遣や看護研究の推進と質の向上に働きかけたいと思います。病院の先生達と看護師さん達が私に優しさや県民の健康に献身的に努力しているイメージを与えました。山梨病院は、本当に「だれでも いつでも気持ちよく 安心してかかれる病院」です。

また、国際課や国際交流センターや海外青年協力協会の皆さんが、助け合って多彩な文化に触れた生活を送ることが出来るようにしてくれました。「雄大な富士山」「歴史が残る京都」「モダンな東京」「平和を祈る原爆ドーム」「夢の国ディズニーシー」[小学生と一緒に過ごしたキャンプ]「商業高校の異文化講座」「10万人が集まる県民の日」「世界で有名な茶道」「小瀬スポーツ公園でのアイススケート」色々な体験などが記憶に鮮明に残っています。

日本は、良好な環境保護、発達している交通手段、進んでいる医療技術、勤勉な国民性という深い印象を私に与えました。7ヶ月があったという間に過ぎ去りました。「さようなら」と言わなければならない時です。しかし、この研修は、私にとって良い思い出になりました。この経験は、私にとって最高の財産です。皆さん、色々お世話になりました。本当にありがとうございました。日本の文化や人々の事をいつまでも忘れないと思います。また、いつの日にか桜が満開の春にもう一度美しい日本へ来たいと願っています。

「みなさんありがとう」 カロリーナ・ダントス・ノゲイラ Carolina Dantas Nogueira

ブラジル / 宝石企業におけるマーケティングとその研摩・改良方法 / 山梨県立宝石美術専門学校

初めまして。ブラジルのミナスジェライス州から来ましたカロリーナと申します。海外技術研修員です。ブラジルのミナスジェライス州と日本の山梨県は姉妹都市ですので、私は日本で勉強をするために、このプログラムに入りました。私はブラジルで国際関係についての分析の仕事をしています。ブラジルは宝石がたくさん採れて、世界に輸出していますが、ジュエリー市場は日本より小さい市場です。日本は自分の国で宝石が取れませんが、ジュエリー市場としては世界で3番目に大きいのです。ですから、私は山梨県内のジュエリー産業でのマーケティングや商品開発の状況を学び、ミナスジェライス州で役立てたいと考えています。今年の7月から宝石美術専門学校で研修を始め、1月まで行う予定です。

世界中のどこへ行っても面白いと思うけれど、アジアとアメリカとヨーロッパの中で、私にとって一番面白そうだったのは日本でした。日本は文化や言葉などが興味深く、ブラジルの文化とはほとんど違いますから、大きく視野を広げることができると思いました。似ている文化の国へ行っても、視野を広げることが出来ますが、全く違う文化を学ぶことで、物の見方や考え方が本当に変わります。もちろん、言葉の問題があります。何も知らない人は大変かもしれないけれど、勉強したら、何でもできるようになると思います。また、いろいろな言語を知っていることは、良いことですが、旅行する国の言葉を学んだほうが良いと思います。そうすれば、旅行がもっと簡単で楽しくなります。文化の違いはありますが、頑張ったら大丈夫です。自分のことをよく理解できたら、他国の文化を理解することがもっと簡単になると思います。しかし、それは大変なことではなくて、面白いし、お互いにもっと良い

関係を築くことができると思います。

山梨県はとてもきれいです。ミナスジェライス州にも同じように山がたくさんあります。私にとって、それはとても素敵なことです。私は山が好きだからです。私は山梨県に来てとても嬉しくなりました。毎日、富士山を観ることが出来ます。それに雪も観ることが出来て良かったです！研修ではジュエリーの制作も学びました。私はジュエリーを作ることは芸術行為であると感じました。芸術は、非常に難しい勉強と長い努力によって得られるものです。ジュエリーは作られるものではなくて、生まれるものです。その作り手の創造力の結晶であり、一つ一つがそれぞれ美しさを持っています。ジュエリーは本当に永遠です。このようなことを学ぶことが出来て、日本に来て良かったと思います。それ以上に私が日本へ来る以前と違う人になったと自覚できて良かったと思います。少しだけ視野を広げることができました。視野を広げることと文化の理解をすることは、芸術を作るための第一歩です。そして生活を深く理解するための大きなステップです。このプログラムの皆様と山梨県の皆様に感謝いたします。



「Memories of life in Yamanashi」 ブライアン・アダム・フーパー Brian Adam Hoover
アメリカ / 日本映画 / 山梨県立大学

I've been living in Yamanashi for almost half a year and I can finally say I'm starting to get used to the life here. When I think about it, Yamanashi reminds me a lot of my home back in Iowa. It is not a particularly exciting place, but the landscape is beautiful and people are usually pretty friendly. I know I will always miss this place once I return back to Iowa in a few short months.

Before I came to Japan I had read a little about Yamanashi. So I knew a few things, but of course not everything can be explained in a book. You have to see, taste, and experience these things for yourself. I still can't get over the fact that while I'm writing this I am able to glance at Mt. Fuji through my window. I send my family pictures, but I

know it's not the same thing as actually being here. Also, there are no mountains in Iowa so just being outside here is a fun experience for me. I could



ride my bike around Kofu for hours while listening to my ipod.

Since I'm interested in martial arts, and this is Japan, I was sure that my college would have some sort of club. Since it didn't, I coincidentally found a school teaching the Afro-Brazilian martial art "Capoeira." I've become more interested in not only Japan, but many other countries and cultures while I've been living here.

Probably the most important thing I realized here is that not only Japanese people speak Japanese. There is this idea that English is the international language and if you speak it you can communicate with people all over the world. In America I only spoke English, but I didn't really have that feeling that I could just talk to anybody I wanted to.

Sometimes you have to make an effort to learn another's language. Living with other foreigners here in Yamanashi I am able to talk to people from Korea, China, and Iran to name a few. If we didn't study Japanese, there would be no way for us to communicate. My friends back at home laugh when I tell them that I have to speak Japanese in order to talk to my Mexican friend. Although I'm sure nothing is like your first trip to Yamanashi, I'd like to return to this place some day.

「富士山の思い出」 金 相恩 Kim Sang-Eun
韓国 / 外来語のイメージ / 山梨県立大学

私の名前は金相恩（キム・サンウン）と申します。昨年の4月から交換留学生として山梨県立大学に通っています。

初日、成田から高速バスで3時間くらい走ってやっと山梨に着きました。外はもうすでに暗くなり山梨はどんな町なのかまったく想像がつかせませんでした。次の日の朝部屋の窓を開けたとき私はとってもしびっくりしました。目の前に富士山がくっきりと現れたからです。日本の代表的な山がこれから1年間毎日こんな近くで見られるなんて「何て素晴らしいんだろう」と思い嬉しく写真を撮りました。（富士山が見えるのは天気によってことは後から知りました。）

7月センターの皆さんと一緒に富士山に登ることになりました。富士登山は死ぬほど大変だとあちこちから言われていたので山登りの苦手な私はとても心配になりました。当日2台の車で五合目まで行きました。着いたのは午後7時くらいで7月というのに外はかなり寒くて皆は持ってきたジャケットやジャンパーを着なければなりません。富士山は真っ暗で人々のライトの光だけが蟻みたいに長い列を作っていました。登っても登っても頂上が見えませんでした。8合目に着いたとき白い雲の中から小さい太陽が昇ってきました。生まれてはじめて見る日の出では何だかとてもきれいで不思議な気持ちになりました。やっと頂上も見えるようになり後もう少しだと思うと、疲れているはずの体から力が湧いて来ました。しかし、しばらく頂上は見えないもの登っても登っても着かないのです。しかも人で渋滞していて2～3歩で動かなくなったりしながら頂上に着いたのはそれから2時間後のことでした。3,776M、頂上は真っ白な雲に囲まれ実に見事な景色を演出していて胸一杯になりました。こんな絶景を自分の目で見れなんて私は幸せだと思いました10時間も寝ずに登った皆は疲れた気配もなく富士山の頂上を満喫しました。富士山は登りより下りの方が大変でした。富士山の特徴

のある土は私のひざを痛めました。登り10時間、下り4時間、14時間の登山を終えセンターへ帰りました。

今も私の部屋から富士山が見えています、ですが前とは少し違う富士山になりました。前は景色の中の富士山でしたが今は自分の足で踏んだ一番高い場所として、素晴らしい思い出の場所としての富士山に変わっています。「富士山に一度も登らぬバカ、二度登るバカ」というコトワザがありますね。これで私はやっとバカが卒業できました。

私はここ山梨に来て共同生活やお祭りなど楽しい思い出を作ることができました。そして日本の大学も体験することができました。また色々な人と出会いました。これらの全ては一生忘れられない誇りの思い出になるでしょう。

私は3月国へ帰ります。残りは後1ヶ月少し、最善を尽くして山梨を、日本を楽しむつもりです。かけがえのない思い出のために！



「地球村」



南アルプス市西野
Tel./Fax.055-284-7786
e-mail kamimura5@net5.nus.ne.jp

平日の夜7時半、南アルプス市のあるお宅に「地球村」のメンバーが集まりました。発足以来、月に一度開催しているブレインミーティングです。日本語教師のかたわらコーディネーターを務める神村初美さんは、仕事を終えて集まった代表メンバーたちの意見にじっくりと耳を傾けながら、ていねいに収集された地域の情報を提供します。この日のテーマは会の方向性と今後の予定の手配と確認について。スタートしたばかりの会のルール作りをしながら、助成金の申請についても検討していきます。



会のきっかけは、子育てをテーマとした座談会で知り合ったことから。日本人の夫を持ち子育てに一生懸命の日々を互いに語り合いました。日本に住み今後もここ山梨で暮らしていく自分たちにも地域社会のために何かできるのではないかと、一人ではできないことも皆で取り組めばきっと形になる。次々と沸き上がる熱い気持ちに驚きながらも「それぞれの思いを時間を忘れて語り合いました」と中国出身の趙志紅さん。

昨年11月、皆の思いを形にと「地球村」として会がスタート、会員は現在13人。出身国はタイ、ペルー、コロンビア、アルゼンチン、ブラジル、中国、チェコ、日本の8か国。「いろいろな背景や経験を持つ人たちが



JICA通信

『山梨から世界へ』

JICA山梨デスク 国際協力推進員 雨宮律子

世界はとても身近になってきています。

将来どんな職業に就こうとも、どこで生活しようとも、海外や外国人との関わりが必ずでてくると思います。よりよい明日を、世界の人々と過ごすために私達JICA(ジャイカ)の国際協力活動があります。現在も世界各地で自分の持っている特技を活かし、さまざまなボランティア活動を行っています。国際協力、海外ボランティアの方法はいろいろありますが、物事を知り発信することがとっても大切になります。

“知って何でしょう?”

自分のことを大切にしていますか?いろいろなことに興味がありますか?友だちの素敵なお話をたくさん聞きますか?

JICA出前講座の国際理解教育や開発教育において「知る」力、

「発信する」力を養っています。山梨県での活動は、青年海外協力隊の経験者が中心に行っています。日本を離れて、国際協力に取り組む「海外の異文化を理解する」。海外から日本に戻って、国際協力に取り組む「改めて異文化を理解する」。同じ日本に住んでいても、各家庭での生活習慣や考え方で違和感や違いの面白さを体



多文化共生の現場から

集まった、だから『地球村』がびったりなんです。」母国チェコでラジオ勤務の経験がある三枝マルゲータさんは言います。県内に暮らす外国籍住民自らの視点から活動を広げていきたいと、今後、異文化理解講座や母国料理の教室などさまざまな機会へ協力、参加しながら、会の活動や地域情報を多言語で発信することも目指しています。

「主人と知り合い日本にやってきたとき、周りの人たちはとても親切にしてくれました。」故郷コロンビアを離れこの地でがんばった子育ても、子どもたちはもう中学生と高校生。「今度は私たちが新しく来る人たちの助けになれると思います。そして地域の役に立ちたいと思っています。」と、山梨在住18年の中込エスメラルダさんはこれまでも経験がある地域や学校での講演協力にもさらに意欲的です。



「地球村」は今まだ始まったばかり。誰もが住みやすい地域社会をつくるために、自分たちにできることを一つひとつ丁寧に行っていきたいと、この日ミーティングは夜遅くまで続けました。



これからやっていきたい活動内容

- 各種教室、講座開催
- 日本語教室、サルサダンス講座、料理講座
- 出前講座開催
- 外国籍住民の視点から(文化紹介、異文化交流、育児、いじめ、家庭内コミュニケーション)
- 連携事業開催
- 多文化共生・国際交流関連団体等との連携事業

近日中の予定

- 平成19年2月 3日(土) 第一回やまなし外国人日本語スピーチコンテスト参加、協力
- 平成19年2月10日(土) やまなしインターナショナルネットワーク意見・情報交換および交流会参加

験したことはありませんか?

ある高等学校で、異文化理解講座を3回バージョンで行いました。1回目は青年海外協力隊として活動してきた2年間の中での異文化体験、活動体験。実際にたくさんの方たちと作るには何を大切にするか?の問いかけも行いました。2回目は、山梨県在住の外国籍の方がたにご協力いただき学生に実際に交流体験をしてもらいました。振り返りの3回目が終了し以下は学生の感想です。

『とても楽しくて充実していました』『いろんな人の話を聞くのはとてもたくさんの方が知れて、世界だけでなく日本のこともたくさんわかっていいと思った』『1回目では、計画を練って、2回目では実行して、3回目は振り返ったことで、始めのころと、今ではずいぶん考え方が変わりました。考えたり、言うだけでは簡単ですが実行にうつすのは大変でした』『もっといろいろなことを知りたい』などありました。

国際協力に関わっている人たちが全て完璧な人のわけではありません。活動の中で、楽しんだり、怒ったり、嬉しかったり、悲しかったりたくさん経験しています。どうしてそう思うのかを伝える努力、相手の気持ちを知る努力をしています。山梨から世界へ旅立つとき、世界から山梨に来た人を迎えるときあなたはどのようにしますか?



お客様の“満足”が、
アド井上の主力商品です。



印刷全般 ホームページ制作 データ制作・管理
その他、“困ったこと”のお手伝い

株式会社 アド井上

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5
TEL055-273-6141・FAX055-273-6144
URL <http://www.mdf.co.jp/inoue>

アド井上はヴァンフォーレ甲府を応援します!

Shingen-ko Matsuri (信玄公祭)

The first Saturday of each April, Kofu city travels back in time to honor Takeda Shingen, who was a Yamanashi-born warlord with military prestige and sought for the control of Japan in the late stage of the “warring states” period. *Furinkazan*, the battle flag used by him are seen all over town. According to *The Art of War*, *Furinkazan* means, “Move as swift as a wind, stay as silent as forest, attack fierce like fire, and unmovable defense like a mountain.”



The highlight of the Shingen Matsuri is the parade of the Takeda Army, which is made up by local citizens dressed in samurai costumes of the famous twenty-four knights of Takada and more than 1000 warriors and princesses marching around the town.

Therefore, to participate in the Shigen-ko Matsuri is a once in a lifetime experience that you would not want to miss.



Date: 7th April 2007

Entry Fee: Samurai 10,000 yen
Soldier/Princess 7,000 yen

(Including: Insurance/costume/souvenir photos)

Application: Fill out the application form and fax to 055-221-3040

Enquiries: 055-231-2722 or visit www.yamanashi-kankou.jp/shingen/

Japan Festival

The Japanese are famous for their superb works of art. Some of the artistic styles came originally from China, while others have been influenced by the invasion of new and alien ideas that get absorbed, imitated and finally, assimilated.

The International Centre in Kofu is proud to present the Japan Festival 2007, which is on the 11th of February. There will be various Japanese cultural activities that you can enjoy!

Tea Ceremony (Sado): The Japanese Tea Ceremony is a traditional ritual influenced by Zen Buddhism. It is prepared by a skilled practitioner with powdered green tea (*matcha*), and then served with special sweets.

Calligraphy (Shodo): Calligraphy is widely practiced in the East Asian countries such as China, Japan and Korea. The calligraphy is originated and developed from China, specifically the ink and brush writing of Chinese characters.

Flower Arrangement (Ikebana): The Japanese flower arrangement is based on three main points that symbolise heaven, earth and humankind. The Japanese devote their



attention on the linear aspects arrangement. Apart from the flowers, vases, stems and leaves are also part of the art.

A Vertical Bamboo Flute (Shakuhachi): The *shakuhachi* is a Japanese end-blown flute, which is held vertically like a recorder. Its name means its size “1.8 foot”. It is traditionally made by bamboo in which it creates a soulful sound. However, *shakuhachis* nowadays are made mainly in wood and plastic.

The Japanese Drums (Wataiko): The word “*taiko*” means drum in Japanese. Outside of Japan, the word is referred to any of the Japanese drums (*Wataiko*). In the ancient time, *taiko* were often used by the Japanese warriors to motivate troops, and to call out orders or announcements.

Don't all of them sound new and fascinating? Come and join us in this wonderful event. (see the Event Calendar for details)



「Apeos(アペオス)」とは、富士ゼロックスが提唱する新しいコンセプト。ドキュメント情報とデータ情報をシームレスにつなげ、お客さまのオフィス環境にあわせたソリューションを提供する「バーチャルな場(環境)」です。
「Apeos(アペオス)」には、「超越した開かれたオフィスを実現する場」という意味が込められています。企業という枠組みから解放された、デバイスとソフトウェア、サービスがインターネット、インターネット上で並列に連携し、新たなビジネスプロセスやワークスタイル(価値)を提供する場(フィールド)を表したものです。



THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

「知的フィールド」

富士ゼロックス山梨株式会社

〒400-0043 山梨県甲府市国母1-3-7
tel 055-233-3151 fax 055-233-3155
www.fujixerox.co.jp/ynx

12月9日(土)、国際交流センターにおいてワールドチャリティークリスマスを開催しました。クリスマスコンサートや、各国料理の屋台が並ぶワールドグルメ、オークションや抽選会などが行われ、国際交流センターは多くの人でにぎわいました。この日の入場料やオークションによる収益金は192,400円となり、国際協力現場や小児ガンの子どものために使われるほか、当日皆さまから寄せられた文房具とおもちゃはタイの孤児院の子どもたちに贈られました。

多くの皆さまにご協力いただき、本当にありがとうございました。

小さなハートプロジェクトへ 127,100円



支援金を手渡す古明地専務(左)

<http://www.sojocv.or.jp/heart/indexx.html>

JICA



「協力隊を育てる会」を通じて青年海外協力隊員の活動現場に送金され、現地の人々のために活用されます。

小児ガンの子どもたちを支援するGRAACCへ 65,300円

アイルトン・セナ・財団を通じて、ブラジルサンパウロ市内で小児ガン専門病院を運営する非営利団体GRAACCへ送られます。
<http://www.graacc.org.br>

アイルトン・セナ・財団
母国ブラジルのストリート・チルドレンの救済を目的として、セナの遺産を基に姉により設立。セナの肖像権、商標の収益によって、その活動を行っている。

<http://senna.globo.cominstitutoayrtonsenna/>



Baan Unrak-House of Joy バアン・ウンラック「幸せの家」孤児院(タイ王国)へ 文房具とおもちゃをプレゼント



1991年に設立。70人の孤児たちへ住まいや教育を提供し、彼らに未来への希望を与え続けています。

<http://www.amurt.net/seasia/baanunrak.html>

ご協力ありがとうございました!

■パフォーマンス

Kim Pilger/Jazz Market/JET青年のみなさん/杉田博子・依田浩/Patrick Lowry/Fred De Condappa/Beth Bertagnole/ピタゴラス・ブラジル学校/山田幸雄(敬省略)

■物品提供

国際ソノプロチミスト山梨/アズサ/アド井上/飯室秀男商店/ヴァンフォーレ甲府/小沢茶園/キャセロール/近藤泰晃園/佐川急便/ジャスト/ピタゴラス・ブラジル学校/ブラジル銀行/松本公夫/山梨管財/富士ゼロックス山梨/山梨日日新聞社/山梨放送/ユニマツト・オフィスコ(敬省略)

■ワールドグルメ・フェアトレード

青山ジュニア/YETI/海外技術研修員のみなさん/ハンス・ベアトマン/日登ゆうこ/マヘンダー・ペイド/ピタゴラス・ブラジル学校/山梨県立大学のみなさん/山梨青年海外協力隊協会/依田美樹(敬省略)

■受付・チケット・クリスマスクラフトほか

寺田陽子/宮田雅子/レイ智子/川窪穰/やまなし国際交流親善大使(敬省略)

その他ボランティアスタッフの皆さん、そして、当日ご参加いただいた多くの皆さま、ご協力ありがとうございました!



このコーナーでは、毎回気軽に作れる海外メニューのレシピを紹介しています。

クッキング@ホーム

来日3年目の山梨大学大学院生、ベトナム出身のグエンティクインニさんにベトナムの「揚げ春巻」を紹介してもらいました。ニさんはやまなし国際交流親善大使としても、県内で行われるさまざまな国際交流や国際協力のイベント、事業などに参加しています。



「揚げ春巻」材料

春巻きの皮.....1袋
豚ひき肉.....200g
春雨.....50g
きくらげ.....15g
もやし.....100g
卵黄.....1コ
塩.....適量
こしょう.....適量



作り方

1. 春雨ときくらげはお湯でもどし、きくらげは細切りにしておく。
2. 豚ひき肉とはるさめ、きくらげ、生もやし、卵黄をよくまぜる。
3. 塩、こしょうで味付けする。
4. 春巻の皮に巻いて、油で揚げればできあがり!



ベトナムのニョクマムや、チリソースにつけて食べると最高ですが、日本の醤油でも美味しいですよ。にんじん入りも試してみてくださいね!
グエンティクインニ

親睦・無尽・個人旅行のご相談は是非日本旅行までどうぞ



甲府支店

担当:植松

〒400-0031 甲府市丸の内2-29-4
明治安田生命甲府ビル1階

TEL:055(235)5252 FAX:055(231)1533

営業日・時間:月~金10:00~18:00 土日祝休業



県内イベント情報！

海外ボランティア活動報告会！

山梨県出身の海外ボランティアの皆さんによる途上国での活動報告会です。苦勞したこと・嬉しかったこと・おどろいた習慣など現地のさまざまな様子をぜひお聞きください。どなたでも参加できます。

日時 平成19年2月25日(日)午後1時半～4時半
 場所 山梨県立国際交流センター 1F大会議室
 参加費 無料
 定員 50名
 問合せ 山梨青年海外協力隊協会 事務局 松本 公夫
 e-mail:nrh 04593@nifty.com TEL:090-1888-1385

いけばな講座 Japanese Flower Arrangement!

テーマ 「ひな祭りによせて」 "HINAMATSURI"
 日時 平成19年3月24日(土) March 24, 2007
 午後1時～3時 1:00p.m.～3:00p.m.
 場所 山梨県立国際交流センター Yamanashi International Center
 参加費 1,150円 Participation Fee ¥1,150
 定員 15名 15people
 締切 3月15日(木) Application Deadline March 15, 2007

どなたでも参加できます。英語対応有り。 English Available

問合せ・申込み
 古屋はるみ Harumi Furuya Tel.055-262-5350

YIN活動報告！ Yamanashi International Network

12月7日(木)に開催された運営委員会において、NPO多文化共生フォーラム(平成18年10月9日開催)の議事録が配付され今後について話し合われたほか、平成19年1月23日(火)、山梨県ホームページで公開中の「やまなし多文化共生推進指針」やパブリックコメント(県民意見提出制度)についての学習会が県立国際交流センターで行われました。

今後の予定 地雷除去に挑む国際貢献 平和な大地をめざして 両宮 清氏
 と き 平成19年2月10日(土)午後1時半～
 と ころ 県立国際交流センター大会議室
 YIN意見/情報交換会および交流会 午後3時～(参加費500円)

やまなしインターナショナルネットワーク(YIN)とは？

民間国際交流・協力団体33団体で構成され、団体相互の連携と協力関係を密にしながら、情報交換や協働事業を実施することを目的としています。
 事務局 (財)山梨県国際交流協会

ごあんない！

この「県内イベント情報」では、さまざまな団体による事業やイベントを紹介しています。掲載希望の事業がありましたらご連絡ください。当機関誌「Yamanashi」は隔月発行で、奇数月の各月末に山梨県国際交流協会個人・団体会員、県内外国際交流・協力団体、県内企業、各市町村等に発送しています。

(財)山梨県国際交流協会 機関誌担当 坂上(さかがみ)
 Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473 keikos@yia.or.jp

国際交流センターをご利用ください！

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。
 会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00am～12:00pm	1:00pm～5:00pm	6:00pm～9:00pm	9:00am～9:00pm	1時間
大会議室 (収容70名)	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 (収容15名)	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

子ども文化・芸術体験ワークショップ

世界に発信！ 日本の文化

RAKUGO IN ENGLISH! ~英語で落語に挑戦しよう~

講師 落語家 林家彦いち 師匠
 日時 平成19年3月11日(日) 午前10時30分～午後3時
 場所 山梨県国際交流センター 1F大会議室
 参加費 無料(ただし保険料60円を負担、当日支払う)
 対象 ワークショップ参加:小学生～高校生、
 観覧のみ:幼児～一般
 定員 各対象50人ずつ
 申込方法 住所、氏名(ふりがな)、学校名、学年、電話番号を明記して
 下記にてFAX、またはe-mailで申し込む

主催 財団法人ラボ国際交流センター 山梨子ども広場実行委員会
 後援 山梨県教育委員会、(財)山梨県国際交流協会、(財)山梨県青少年協会、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送
 問合せ/申込み
 (財)ラボ国際交流センター 山梨連絡所 担当:間瀬えりか
 Tel./Fax. 055-253-8350 emase@blue.ocn.ne.jp

この事業は、平成18年度文部科学省「地域教育力再生プラン・子どもの居場所づくり」～文化体験プログラム推進事業の委託を受けて開催しています。

Lets speak Japanese!

生活に役立つ日本語を学んでみませんか。
 日時 平成19年1月20日(土)～3月17日(土)
 毎週土曜日 全9回
 午前10時から11時30分まで(保育も受け付けます)
 場所 南アルプス市甲西農村環境改善センター
 参加費 南アルプス市在住者1,000円、市外在住者1,500円
 申込方法 専用の申込書に記入して下記にて提出する。
 入門クラス、会話クラス、文字クラス、
 外国籍児童クラス

問合せ/申込み 南アルプス市国際交流協会 中込、小林
 Tel.055-280-8345 Fax.055-280-8346

善光寺の英語ガイドセミナー&ツアー！

英語での善光寺解説セミナー(英語説明をしたい人のためのセミナー)
 日時: 3月4日(日)午前9時50分～12時
 場所: 山梨県生涯学習推進センター(甲府市丸の内1-6-1)
 講師: 興石 誠(山梨通訳・ガイド研究会)
 定員: 40名
 参加費: 無料(持ち物 筆記用具)
 主催/申込み: 山梨県観光部観光振興課 担当者: 古谷 健一郎
 Tel. 055-223-1573 Fax. 055-223-1558

英語による善光寺の解説ツアー(英語で解説を聞きたい人のためのツアー)
 日時: 3月11日(日)午後1時30分～3時15分
 場所: 善光寺境内
 集合: 山門
 定員: 60名
 参加費: 500円(拝観料)
 主催/申込み: 山梨通訳・ガイド研究会
 会長 興石 誠 E-mail:makoshi2@ybb.ne.jp

Thank YOU! 会員登録を
 ありがとうございました!

個人会員(入会順・敬称略)

11月 清水とける 佐藤薫 松川裕子 福田玲子
 金丸むつ子 佐々木勉 河合桂緯子 相田美幸 三井マチ恵
 伊藤久士

12月 佐藤光子 清水美知代 平賀昭子 藤森フツ

YIA Event Calendar

2月

やまなし外国人日本語スピーチコンテスト
県内の外国籍住民の皆さんによるスピーチコンテストです。「山梨に住んで思うこと」、一緒に感じてみませんか。
とき 平成19年2月3日(土)
対象 一般
ところ 県立国際交流センター
入場 無料
定員 60人
タイ料理や南米スイーツの試食をご用意しています。どんなでも、どうぞお気軽にお越しください!

NGO活動等促進事業

地雷除去に挑む国際貢献

平和な大地をめざして
10年以上地雷除去活動に関わる雨宮氏の熱い願いと平和への思いを、現地レポートとともにお届けします。
とき 平成19年2月10日(土)
午後1時半~3時
講師 山梨日立建機 雨宮 清氏
定員 60人
参加費 無料
YIN意見/情報交流会及び交流会
午後3時~ 参加費 500円
県内国際交流・協力団体の皆さんと一緒に韓国料理や中国本場の餃子などをお楽しみいただけます。

国際サロン「ジャパンフェスティバル」

茶道、書道、生け花など、日本の伝統文化をぜひ体験してください。
とき 平成19年2月11日(日)
午後1時~4時半
ところ 県立国際交流センター
参加費 大人: 500円、
小・中高生: 300円
(生け花は別途 1,000円)
定員 60人

3月

ホストファミリーになるために

心構えと、とっさのときに役立つヒント満載!
とき 平成19年3月10日(土)
午後1時半~3時半
ところ 県立国際交流センター
参加費 無料
定員 60名

外国人なんでも相談!

とき 毎週水曜日 午後6時30分~9時
相談員 林ジョニーさん
言語 インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語
ところ 県立国際交流センター
費用 無料
毎月第一水曜日は、林相談員のほか法律の専門家が相談に応じます。

日本語講座

とき 毎週金曜日 午後7時~9時
対象 県内在住で日本語を勉強したい人
参加費 無料

山梨県国際交流協会への
お問合せ、お申込みは Enquiries to:
Yamanashi International Association
Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473
〒400-0035 甲府市飯田2-2-3
Iida 2-2-3, Kofu, Yamanashi 400-0035

February

Yamanashi Foreigners' Speech Contest

To all foreigners in Yamanashi. Come to show off your Japanese and express your opinions about living here! No matter you are a beginner or very fluent in Japanese, YOU ARE ALL WELCOME!!!
When: Saturday, February 3rd 1pm~
Where: Yamanashi International Centre
Who For: Local foreign residents
Entrance: Free
Number Limit: 60 people

Japan Festival

Do you know what "Shakuhachi" or "Taiko" is? Come to enjoy the Flower arrangement, Tea ceremony, Calligraphy and Japanese Cooking in the International Centre. Plus we are having the Great World Peace Drum Team to come. So come and experience the difference!
When: Sunday, February 11th, 1:00pm~4:30pm
Where: Yamanashi International Centre
Entrance Fee: Adults: 500 yen
Students: 300 yen
(Elementary - High School)
Under Elementary School: Free
(additional 1,000 yen for the Flower arrangement)
Number Limit: 60 people

Consultations for foreigners

A consultation service is available for foreigners every Wednesday, from 6:30 to 9 pm, at the International Centre.
Consultant: Johny Hayashi
Languages: Indonesian, Portuguese, Spanish, English, Japanese.
*** Every first Wed. of each month, a lawyer and Prof. Onodera Shinobu from Yamanashi Gakuin Univ. will join the regular consultation service.**

Japanese Classes

When: Every Friday; 19:00 - 21:00
Where: Yamanashi International Centre
Class Fee: Free!
Who For: Foreign residents wishing to learn Japanese/

fevereiro

Concurso de oratória para estrangeiros

"Minhas impressões vivendo em Yamanashi" é o tema deste concurso de oratória que é voltado aos estrangeiros em geral que estejam estudando a língua japonesa. Peça ao seu professor que faça a sua inscrição. Vagas limitadas a dez participantes.
Quando: Sábado, 3 de fevereiro.
Onde: Centro Internacional de Yamanashi
Público alvo: residentes estrangeiros.

Japan Festival

Venham passar uma tarde agradável com a família e os amigos vivenciando diferentes aspectos da cultura japonesa: cerimônia do chá - *sadô*, caligrafia japonesa - *shodô*, *ikebana*, apresentação de instrumentos musicais tradicionais japoneses - *shakuhachi*, *taiko* além de diversões para as crianças.
Quando: Domingo, dia 11 de fevereiro.
Onde: Yamanashi International Center.
Quanto: 500 ienes (adultos); 300 ienes (estudantes até o Ensino Médio) e entrada franca para as crianças até a pré-escola.
Público alvo: residentes estrangeiros em geral.
OBS: será acrescida uma taxa de 1000 ienes extra aos participantes das sessões de *ikebana*.

編集後記

多くの皆さまに参加していただいた昨年のワールド・チャリティー・クリスマス、この日数年ぶりの友人に会うことができました。今は県外で外国籍児童たちのために働く彼女も、以前山梨にいたときにはセンターのイベントにいつも笑顔で協力してくれました。懐かしい気持ちになりながら、この日も寒空の下で料理を出してくれた人や受付や各コーナーを担当してくれた方々の惜しみない協力にありがたい気持ちでいっぱいになり、大勢の方に支えられていることを改めて実感しました。

2007年新たな年の始まり、今年もまたどうぞよろしくお願いします。
-坂上-

Even though people have been saying that this winter is warmer than usual, to me, I still feel a strong attachment to my "kotatsu" and a bath before bed. I can still remember how excited I was when I saw the first snow in January, but when I was reminded by the freezingness afterwards, I would probably prefer to see snow on TV rather than in the real life!!!

-Yi-Mei-

"Para os amiguinhos na Tailândia. Robert" estava num bilhete cuidadosamente colado em uma das centenas de caixas de brinquedos que arrecadamos no Charity Christmas. O Robert jamais viu as crianças tailandesas e elas tampouco a ele, mas eu tive a chance de estar próxima a elas e gostaria que o Robert soubesse que o seu gesto de carinho levou sonhos e estampou sorrisos nos rostos de centenas de crianças. Que este gesto se repita (entre os adultos) de várias formas ao longo do ano, a partir do respeito mútuo e a compreensão do outro. Um ótimo 2007 aos queridos leitores!

-Érica-



Published by **Yamanashi International Association**

(財) 山梨県国際交流協会

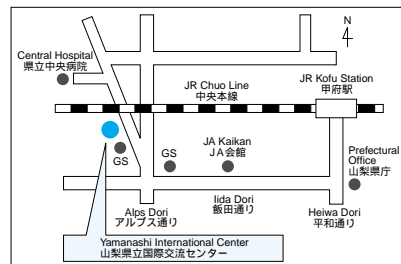
edited by Keiko Sakagami, Érica Tanaka and Yi-Mei Lee

〒400-0035 甲府市飯田2-2-3

2-2-3 Iida, Kofu-shi, Yamanashi-ken, Japan 400-0035

TEL 055-228-5419 / FAX 055-228-5473

http://www.yia.or.jp/index.html e-mail: webmaster@yia.or.jp



The International Centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.